

令和8(2026)年度 病害虫発生予報 第1号

令和8(2026)年4月20日
栃木県農業総合研究センター
環境技術指導部

予想期間：4月中旬～5月上旬 予報の根拠で、(+)は増加要因、(-)は減少要因を表す。

1 麦類 赤かび病

- (1) 発生予想 発生量：多い
- (2) 根拠
 - ・向こう1か月の気温は高い(+)、降水量は平年並か多い(±～+)、日照時間は平年並か少ない(±～+)見込み。
- (3) 対策
 - ・出穂や開花の状況をよく観察し、麦種ごとの防除適期を逃さないよう、防除を徹底する。
 - ・不稔粒が多いほ場は、赤かび病多発のおそれがあるため、追加防除を実施する。
 - ・薬剤を複数回散布するときは、前回とRACコードの異なる薬剤を散布する。
- (4) 備考
 - ・[植物防疫ニュース No.1 \(麦類の赤かび病\)](#)、[防除のポイントNo.18](#)を当センターホームページ(HP)に掲載中。

2 いちご うどんこ病

- (1) 発生予想 発生量：多い
- (2) 根拠
 - ・現在の発生量は多い(ほ場率：多い、株率：多い)(+)。
 - ・向こう1か月の気温は高い(-)、降水量は平年並か多い(±～+)、日照時間は平年並か少ない(±～+)見込み。
- (3) 対策
 - ・株が軟弱徒長すると発生しやすくなるため、適正な温度管理やかん水を行う。
 - ・アフェットフロアブル(F:7)等を葉裏にもよくかかるように散布する。
 - ・曇雨天時にはくん煙剤を使用する。なお、硫黄くん煙は天敵に対し悪影響があるため、天敵導入ほ場では長時間のくん煙処理を避ける。

3 いちご アザミウマ類

- (1) 発生予想 発生量：やや多い
- (2) 根拠
 - ・現在の発生量はやや多い(ほ場率：やや多い、株率：多い)(+)
 - ・向こう1か月の気温は高い(+)、降水量は平年並か多い(-～±)、日照時間は平年並か少ない(-～±)見込み。
- (3) 対策
 - ・施設内外の雑草は発生源・増殖源となるため除草を徹底する。
 - ・花を良く観察して、アザミウマ類が見られた場合には、マッチ乳剤(I:15)を散布する。
 - ・花の1割以上にアザミウマ類が見られる場合(要防除水準)には、ディアナSC(I:5)等を散布する。
 - ・多発時には卵や蛹が残りやすいため、それらがふ化・羽化する時期を狙って追加防除する(1回目の防除からおよそ5日後)。
- (4) 備考
 - ・[防除のポイントNo.19](#)、[アザミウマ薬剤感受性検定結果①](#)、[②](#)を当センターHPに掲載中。

4 いちご ハダニ類

- (1) 発生予想 発生量：やや多い
- (2) 根拠
 - ・現在の発生量はやや多い（ほ場率：平年並、株率：多い）（+）
 - ・向こう1か月の気温は高い（+）、日照時間は平年並か少ない（-～±）見込み。
- (3) 対策
 - ・ほ場をこまめに観察し、増殖する前に防除を行う。
 - ・化学農薬に対する感受性低下が起こりやすいため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- (4) 備考
 - ・[ナミハダニ薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

5 トマト コナジラミ類（黄化葉巻病（TYLCV）、黄化病（ToCV））

- (1) 発生予想 発生量：多い
- (2) 根拠
 - ・現在の発生量は多い（ほ場率：多い、葉率：多い）（+）
 - ・向こう1か月の気温は高い（+）、日照時間は平年並か少ない（-～±）見込み。
- (3) 対策
 - ・コナジラミ類の侵入を防ぐため、ハウスの開口部（出入り口、側窓、天窗）に0.4mm目合以下のネットを張り、特に出入り口は二重にする。
 - ・黄色粘着板を設置し、コナジラミ類の早期発見に努める。
 - ・黄化葉巻病の耐病性品種であっても、本病に感染すると伝染源となるため、感受性品種と同様に適切な防除を行う。
 - ・ウイルス病の発病株は見つけ次第抜き取り、土中に埋設するか、ポリ袋などで密封し枯死させてから処分する。
 - ・化学農薬に対する感受性低下が起こりやすいため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- (4) 備考
 - ・[防除のポイントNo.22](#)、[タバココナジラミ薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

6 たまねぎ べと病

- (1) 発生予想 発生量：平年並
- (2) 根拠
 - ・現在の発生量はやや少ない（-）。
 - ・向こう1か月の気温は高い（-）、降水量は平年並か多い（±～+）、日照時間は平年並か少ない（±～+）見込み。
- (3) 対策
 - ・雨水が停滞すると発生しやすくなるので、ほ場の排水をよくする。
 - ・発病株は伝染源となるので、速やかに取り除き、ほ場外で処分する。
 - ・予防を主体にジマンダイセン水和剤（F:M3）等を散布する。発生が見られる場合は、オロンディスウルトラ SC（F:49、F:40）等を散布する。曇天雨が連続すると予想される場合には、降雨前に薬剤を散布する。

7 なし ナシヒメシンクイ

- (1) 発生予想 発生量：多い 発生時期：早い
- (2) 根拠
 - ・現在の発生量は多い（フェロモントラップ 発生量：多い、発生時期：早い）（+）。
 - ・向こう1か月の気温は高い（+）、降水量は平年並か多い（-～±）見込み。

(3) 対策

- ・被害果は見つけしだい取り除き適切に処分する。
- ・交信攪乱用フェロモン剤を設置する。
- ・卵及び食入前のふ化幼虫を対象に薬剤散布を行うと効果が高い。
- ・防除適期は、第一世代幼虫は越冬世代成虫の誘殺ピークの12～22日後、第二世代幼虫は第一世代成虫の誘殺ピーク7～9日後、第三世代幼虫は第二世代成虫ピークの直後である。散布時期はフェロモントラップのデータの誘殺ピークから判断する（できるだけ数地点分のデータを併せて総合的に判断する）。

(4) 備考

- ・[フェロモントラップ調査結果](#)を当センターHPに掲載中。

8 その他の病害虫

作物名	病害虫名	現況	発生予想	作物名	病害虫名	現況	発生予想
いちご	灰色かび病	平年並	やや多	きゅうり	べと病	平年並	やや多
	アブラムシ類	やや少	やや少		うどんこ病	やや多	多
トマト	うどんこ病	平年並	やや多	きく	ハダニ類	やや多	やや多
	灰色かび病	平年並	やや多				

○ 今後の病害虫対策

(1) 水稲 イネカメムシ

- ・越冬量は県南部では昨年よりやや少なかった一方、県中部では多かったため、今年の水稲での被害が懸念されます。
- ・越冬確認地域：出穂期と7～10日後の2回防除を実施しましょう。
- ・越冬未確認地域：常発地の県南部では引き続き適期防除を実施し、それ以外の地域では、ほ場巡回し、早期発見・適期防除に努めましょう。
- ・[植物防疫ニュース No. 16 \(イネカメムシの越冬状況を確認しました！\)](#)を当センターHPに掲載中です。

(2) 果樹類 果樹カメムシ類

- ・果樹カメムシ類の一種であるチャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの越冬量は昨年より多かったため、今後の発生量は多いと予想されます。
- ・今後の気温は平年より高い予想のため、果樹カメムシ類の活動は平年より早まる見込みです。
- ・定期的に園地巡回し、早期発見、早期防除に努めましょう。
- ・なし・りんごでは授粉後に多目的防災網を速やかに展張しましょう。
- ・[植物防疫ニュース No. 15 \(果樹カメムシ類の越冬量が多いです！\)](#)を当センターHPに掲載中です。

○ 農薬の安全使用等

(1) 薬剤抵抗性発達の抑制

- ・薬剤で防除する際には、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布しましょう。

(2) 有用生物への影響に留意

- ・花粉媒介昆虫（ミツバチ、マルハナバチ）や天敵に対する影響日数に注意して薬剤を選択しましょう。

(3) 農薬適正使用の徹底

- ・農薬は適正に保管・管理しましょう。
- ・農薬を使用する際は、容器のラベルに記載された内容を遵守し、農薬による事故等の発生を防ぎましょう。
- ・薬剤散布の後には必ず作業内容を記録し、防除履歴を作成しましょう。

- **1か月気象予報**（予報期間：4月18日～5月17日 4月16日 気象庁 発表）
 - ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
 - ・前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）

項目	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	10	20	70
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

○ **お問い合わせ等**

- ・詳細は農業総合研究センター環境技術指導部防除課（TEL 028-665-1244）までお問合せください。
- ・病虫害情報発表のお知らせは、[X「栃木県農政部 \(@tochigi_nousei\)」](https://twitter.com/tochigi_nousei)、[農業総合研究センターHP \(https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html\)](https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html)でも御確認いただけます。
- ・[カメムシ防除作戦HP \(https://www.pref.tochigi.lg.jp/g05/kamemushi.html\)](https://www.pref.tochigi.lg.jp/g05/kamemushi.html)も御確認ください。



X「栃木県農政部」



農業総合研究 HP



カメムシ防除作戦 HP